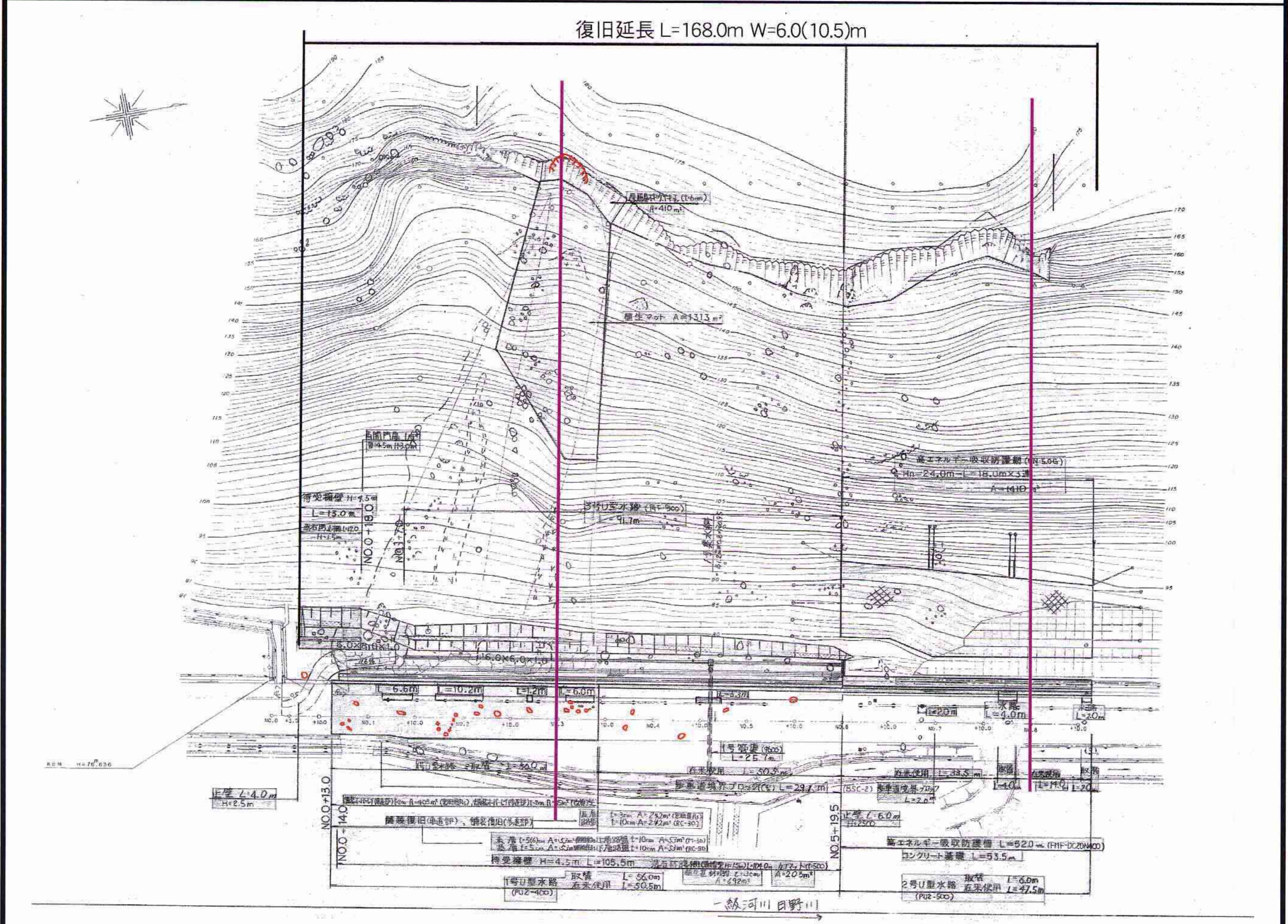


番号	12年災 第 598 号	震央からの距離	10.8 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯 35° 19.9' / 東経 133° 26.1'
河川名・線路名等	主要地方道日野溝口線	工事概要	※落石源となった急崖部分においては浮石を除去すると共に山腹及び現道には高強度/高エネルギー吸収の落石防止対策を実施した。 <input type="checkbox"/> ポケット式ロックネット工 (CN-5.0G,Hn-240m-L18.0×3連) A = 1,360.0m ² <input type="checkbox"/> 落石防護柵工 (FMF-DC20N400 H = 3.0m) L = 52.0.0m <input type="checkbox"/> 現場打擁壁工 (H = 4.5m) L = 118.5m <input type="checkbox"/> 現場打擁壁工 (H = 1.5m) L = 116.0m <input type="checkbox"/> 仮設防護柵工 (H = 5.0m) L = 150.0m <input type="checkbox"/> 植生マット工 A = 1,310.0m ²
施工位置	鳥取県日野郡溝口町宇代		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	230,787千円		
被災状況及び形態	※被災全区間の標高150～175mの道路斜面(比高70m程度)には連続して高さ20m前後の急崖がある。強い地震動によりその一部が崩落し、大小さまざまな落石が多数現道に及んだ。 ※この災害は今回の地震災害の特徴のひとつである「キャップロック構造」における岩盤崩壊によって生じたものである。		

平面図 (S=1/1500)

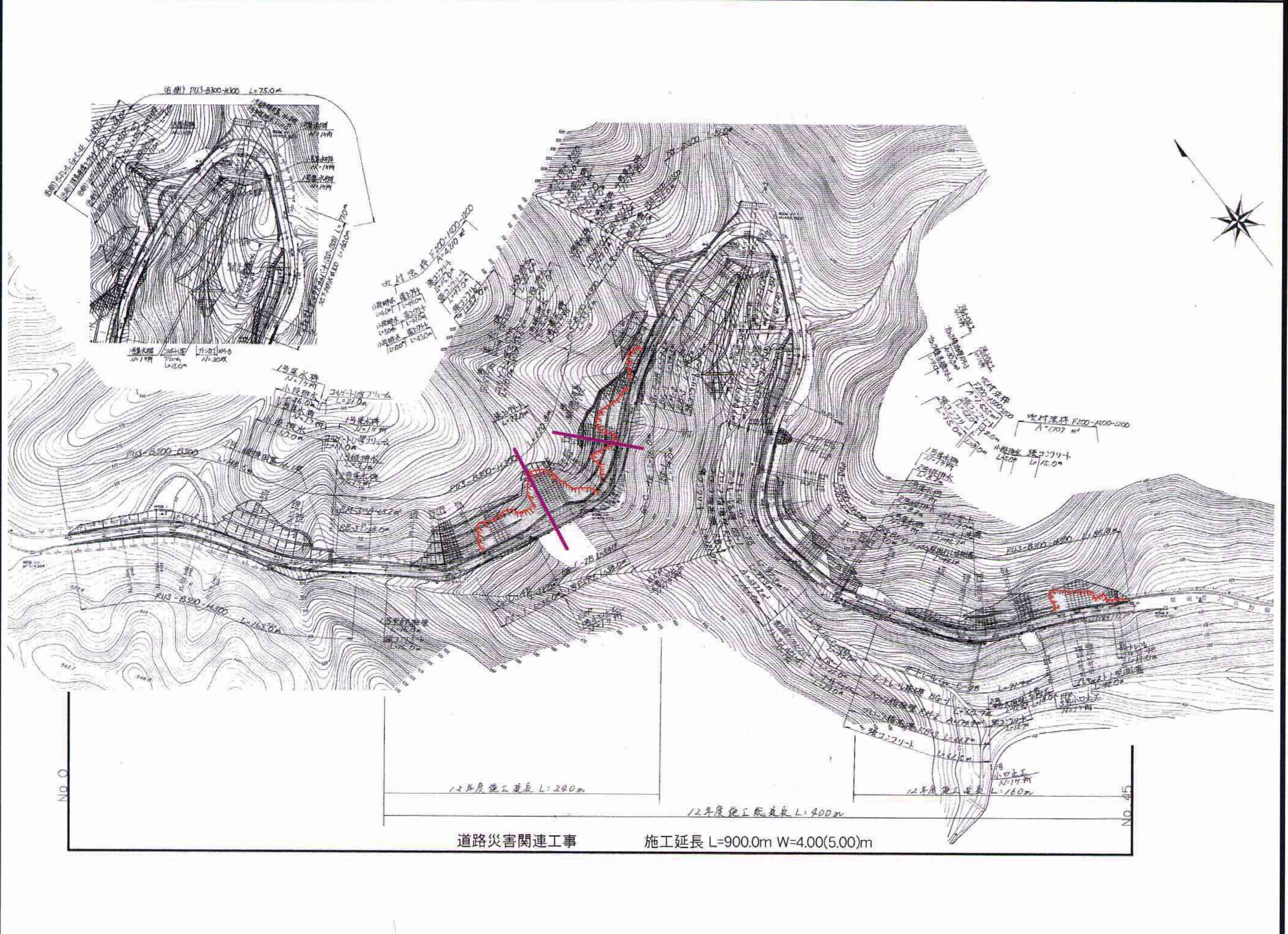


被災状況写真



番号	12年災 第 604 号	震央からの距離	3.6 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯 35° 13.5' / 東経 133° 22'
河川名・線路名等	一般県道菅沢日野線	工事概要	※不安定土塊を除去すると共に、斜面安定工法として、吹付法砕工を施工した。 <input type="checkbox"/> 軽量盛土工 (EPS 工法) L = 52.0m H型鋼杭 (SS400, H-300 × 300 × 10 × 15, @200) グランドアンカー (L = 7.0m/本, 定着長 $l = 3.0m$) <input type="checkbox"/> 現場打吹付法砕工 (F200-1500 × 2000) $\Sigma A = 4,241.0m^2$ <input type="checkbox"/> 落石防護柵工 L = 5.0m <input type="checkbox"/> ブロック積工 (裏コン t = 15cm) A = 197.0m ² <input type="checkbox"/> ブロック積工 (裏コン t = 10cm) A = 120.0m ²
施工位置	鳥取県日野郡日野町久住3号		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	211,082 千円		
被災状況及び形態	※随所で道路斜面や盛土斜面が崩壊した結果、長期間に渡って全面通行止めの状態が続いている。特に No.12 ~ No.15+10区間では被害が大きく多量の崩土が現道をふさいでいるほか現道の一部が谷に流出している。 ※このほか、現道においては舗装やブロック積擁壁に多数の亀裂が生じた。		

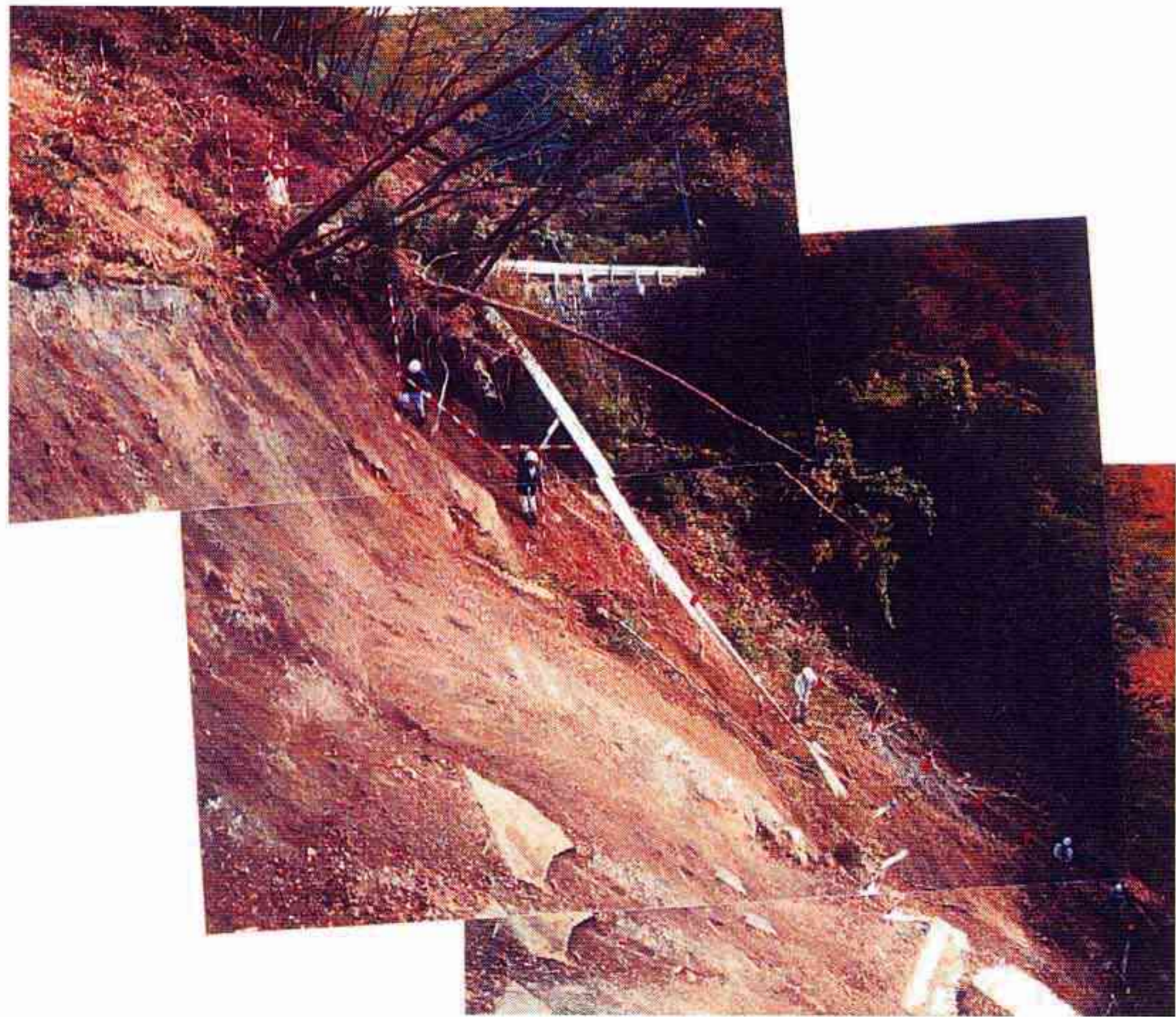
平面図 (S=1/4000)



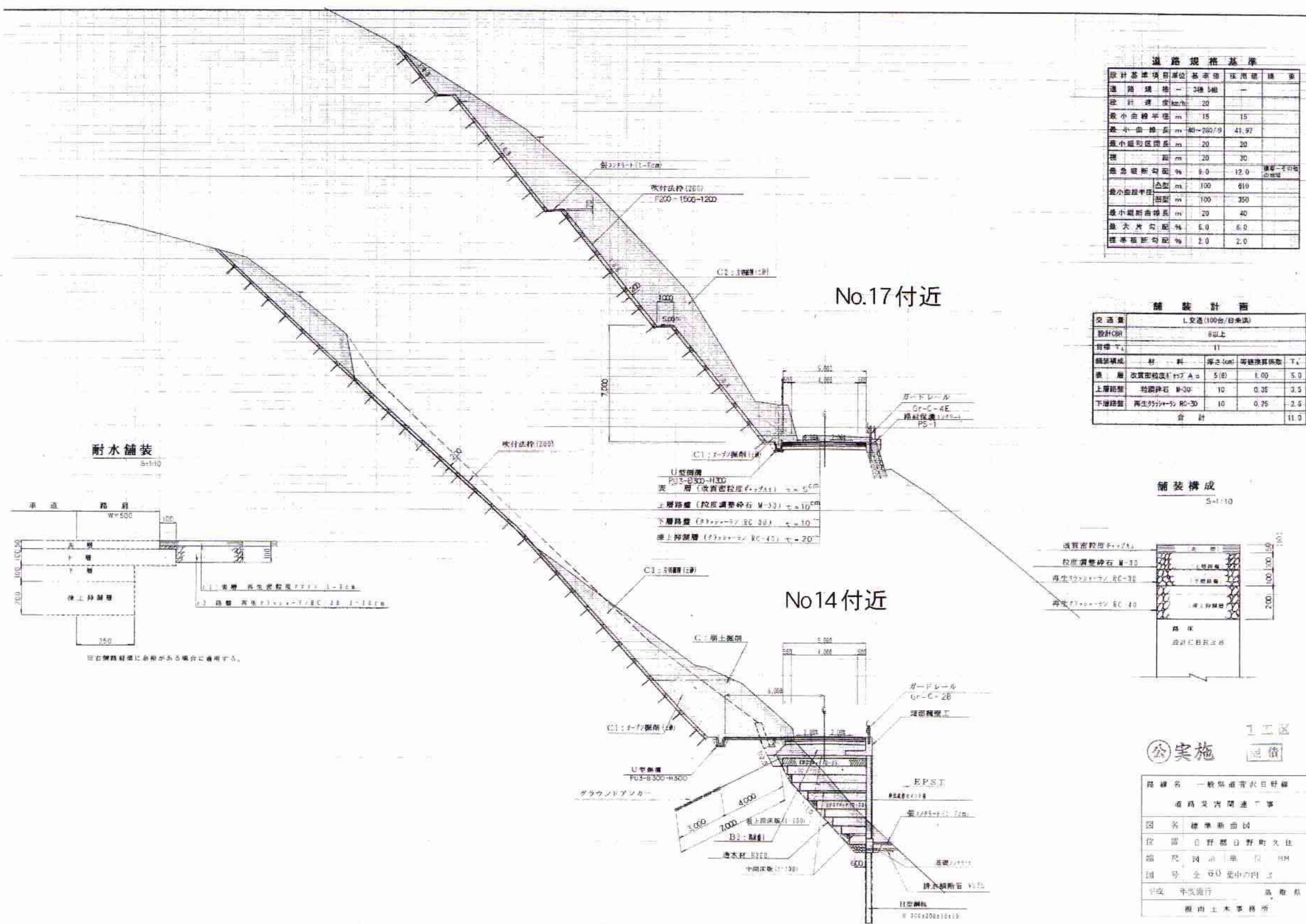
被災状況写真



被災状況写真



標準断面図 (S=1/500)

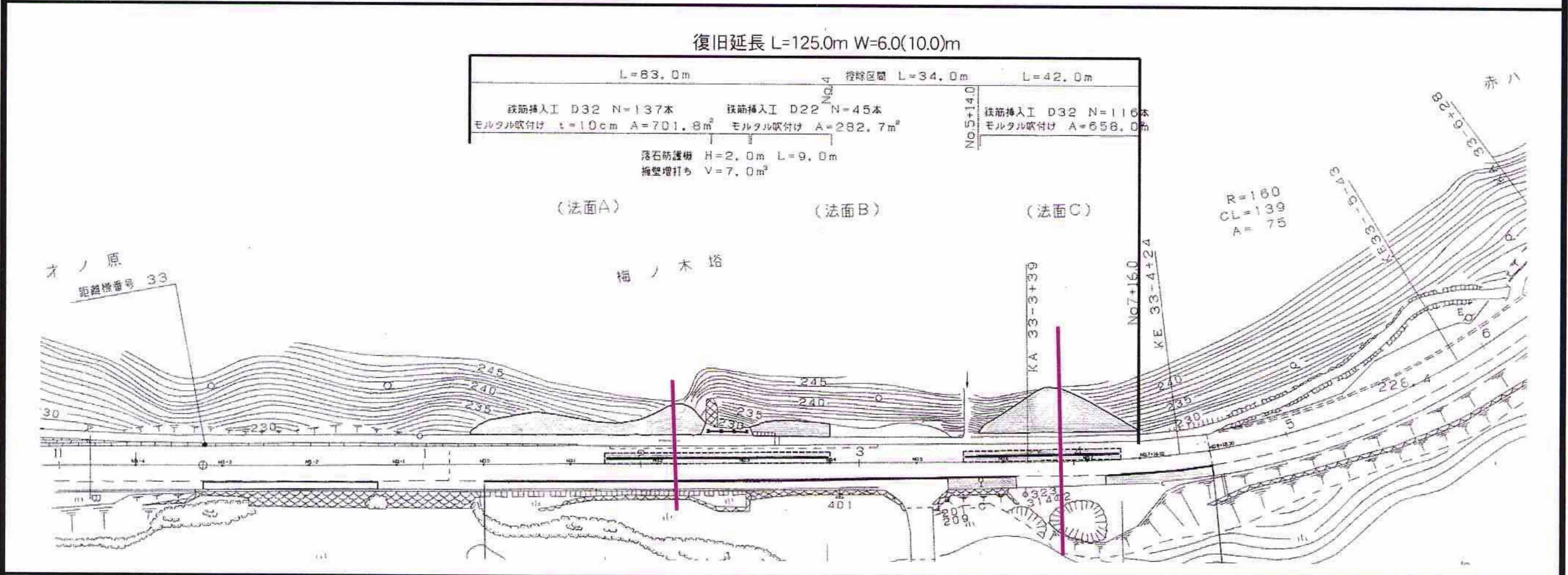


復旧状況写真

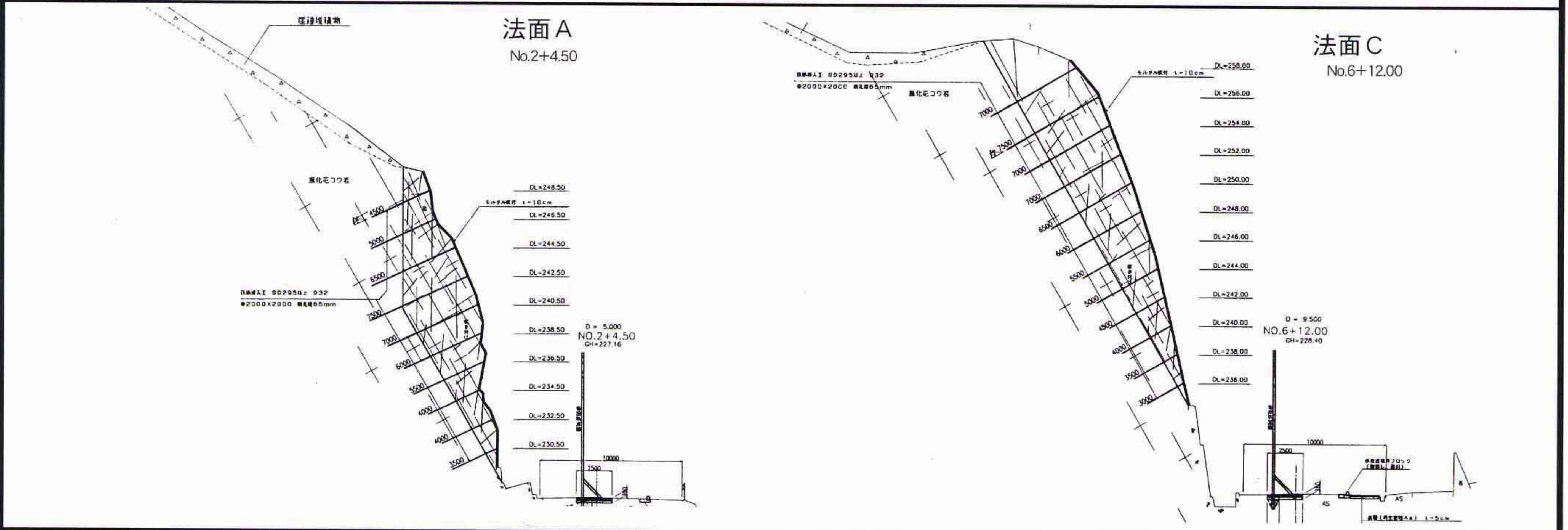


番号	12年災314号	震央からの距離	6.0 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯 35° 12.8' / 東経 133° 23.9'
河川名・線路名等	一般国道180号	工事概要	※全体的に緩んだ法面を「鉄筋挿入工」で補強し、モルタルを再吹付して復旧した。 <input type="checkbox"/> 鉄筋挿入工 (D22、SD295以上、@2000×2000、削孔径65mm) N = 45本 <input type="checkbox"/> 鉄筋挿入工 (D32、SD295以上、@2000×2000、削孔径65mm) N = 253本 <input type="checkbox"/> モルタル吹付工 (t = 10cm) A = 1,642.0m ² <input type="checkbox"/> 落石防止柵工 (H = 2.0m) L = 9.0m <input type="checkbox"/> 仮設防護柵工 (H = 10.0m) L = 87.0m
施工位置	鳥取県日野郡日野町下菅		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	63,291 (内仮工事4,836) 千円		
被災状況及び形態	※被災区間にあるモルタル吹付法面のうち3箇所で地山の一部を含むモルタルの剥離が生じ、現道に崩落した。 ※いずれの崩落箇所も法肩部で発生しているのが特徴的である。		

平面図 (S=1/2000)



標準断面図 (S=1/600)



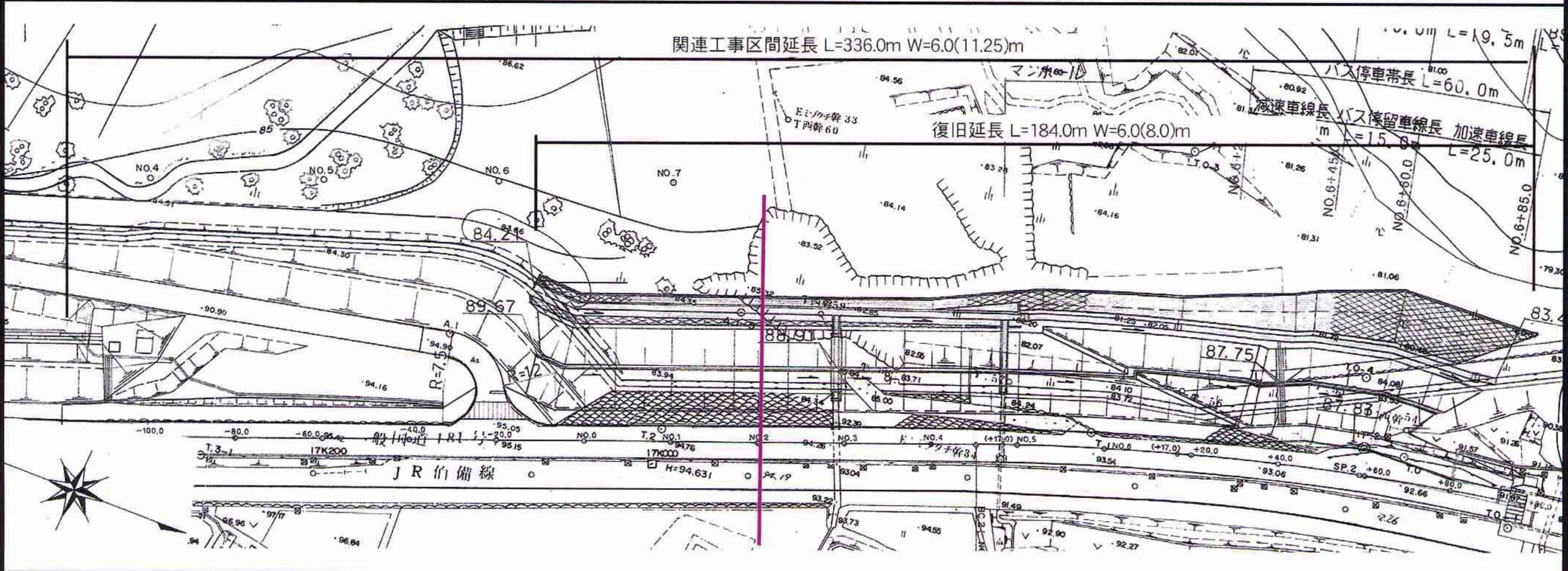
被災状況写真

復旧状況写真

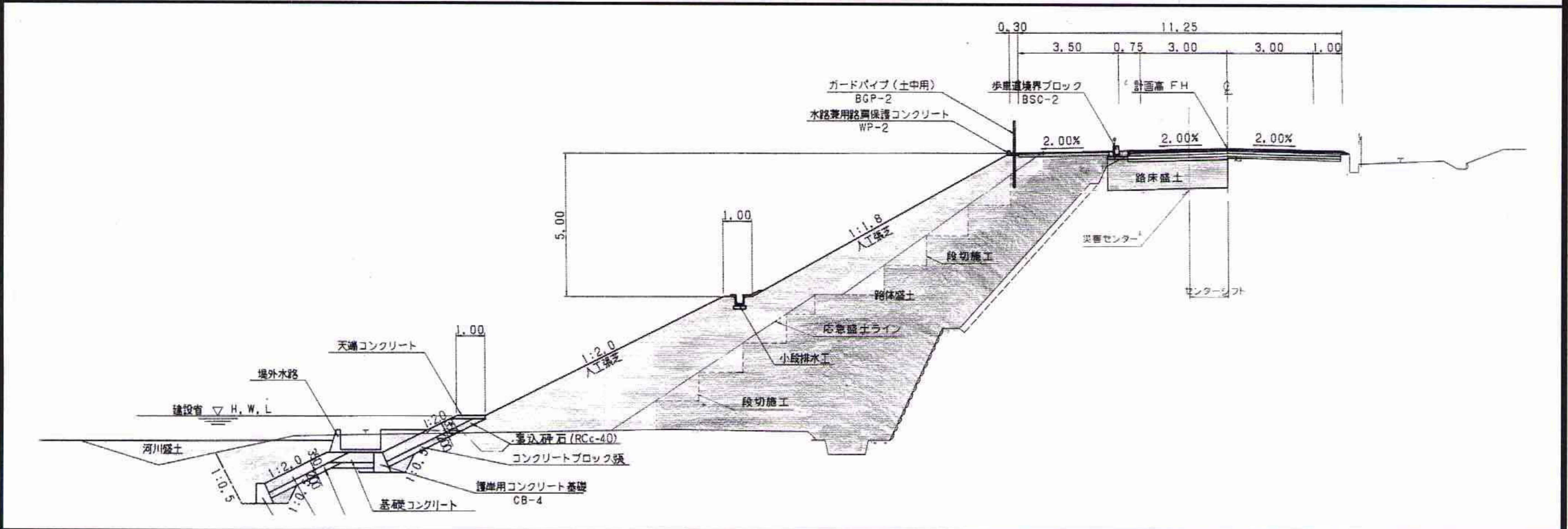


番号	12年災 325号	震央からの距離	10.7 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 19.5' / 東経133° 26.5'
河川名・線路名等	一般国道181号	工事概要	※円弧すべりが発生した箇所については「押え盛土工」によりすべりを抑制する工法を採用した。 <input type="checkbox"/> 路体盛土工 V = 14,071.0m ³ <input type="checkbox"/> 路床盛土工 V = 480.0m ³ <input type="checkbox"/> 人工張芝工 A = 2,930.0m ² <input type="checkbox"/> コンクリートブロック張工 (1:2.0) A = 1,017.0m ² <input type="checkbox"/> ボックスカルバート工 L = 27.0m <input type="checkbox"/> プレキャストU型側溝工 L = 208.0m <input type="checkbox"/> 舗装工 A = 841.0m ²
施工位置	鳥取県日野郡溝口町宮原		
工事名	道路災害関連工事		
工事費	101,493 (内仮工事 3,593) 千円		
被災状況及び形態	※強い地震動により、盛土部分では路肩を頭部とする円弧すべりが発生し、路面では最大50cmの段差 (No.1+2.0付近) が生じた。		

平面図 (S=1/2000)



標準断面図 (S=1/300)



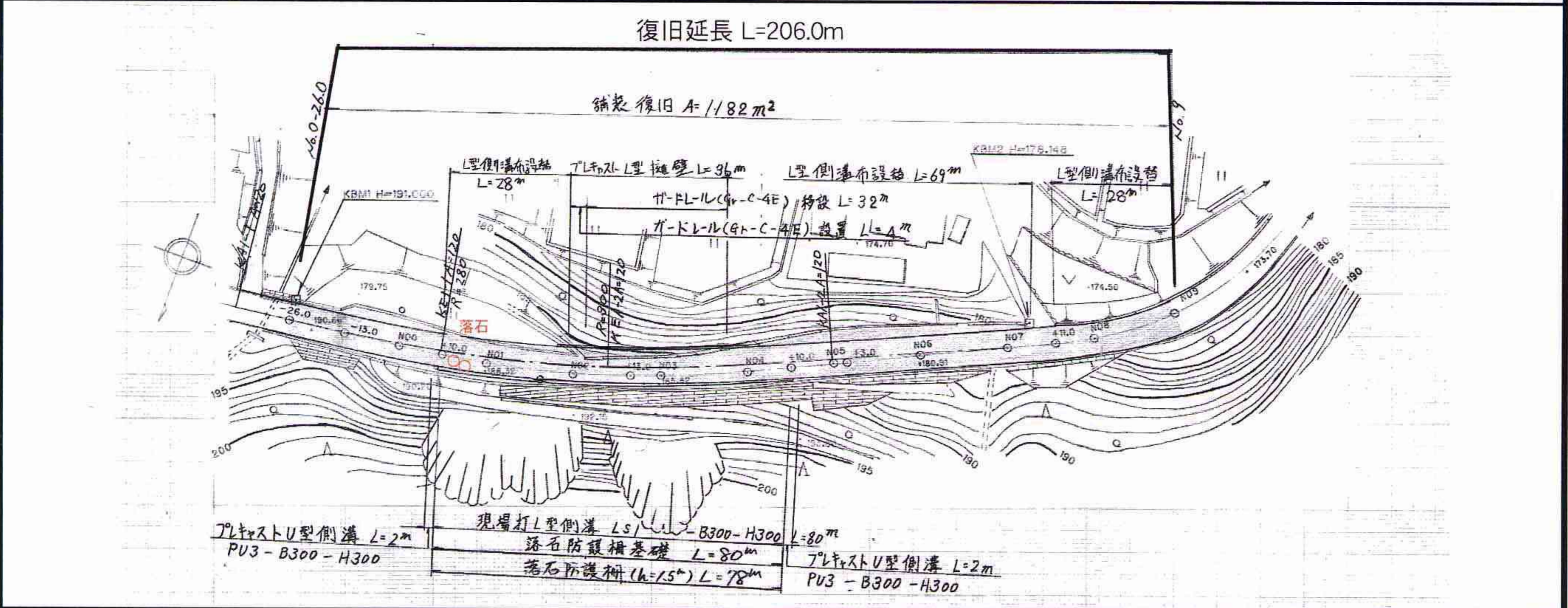
被災状況写真

復旧状況写真

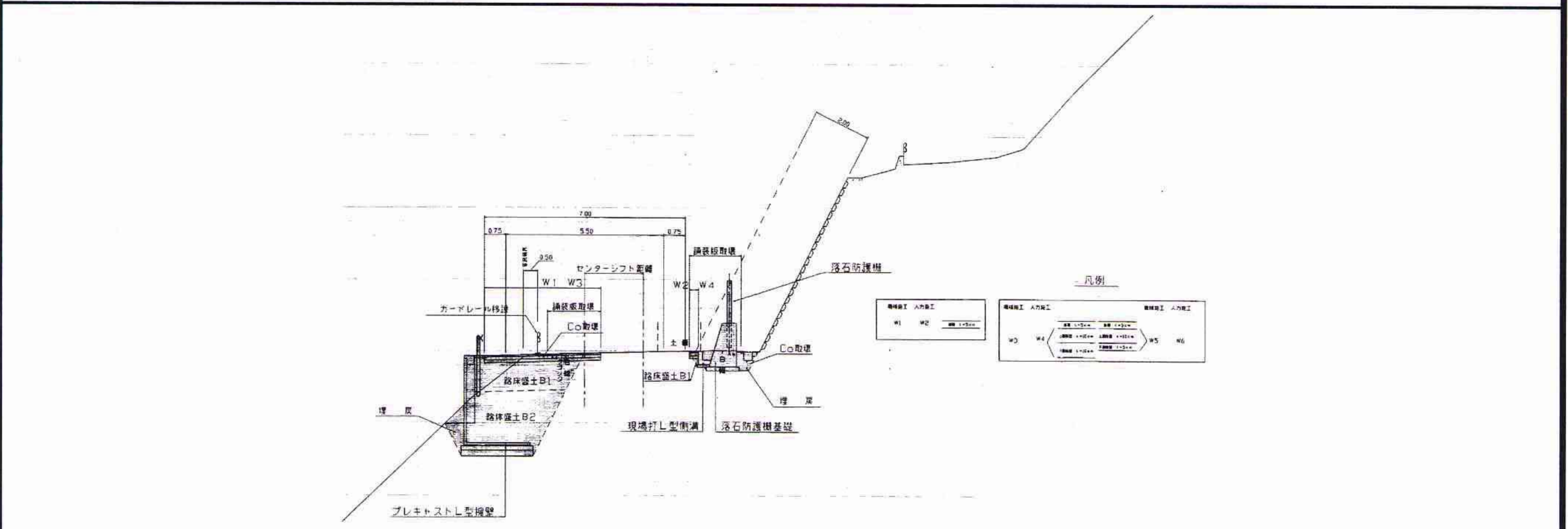


番号	12年災607号	震央からの距離	12.1 km
災害年月日	平成12年10月6日	緯度 / 経度	北緯35° 19.1' / 東経133° 28.1'
河川名・線路名等	一般県道大滝白水線	工事概要	※山側に落石防護柵を設置するために、川側にL型擁壁を設置して道路幅員を確保した。 <input type="checkbox"/> 落石防護柵工 (H=1.5m) L=78.0m <input type="checkbox"/> 落石防護基礎工 (待受擁壁, H=1.5m) L=88.0m <input type="checkbox"/> プレキャストL型擁壁工 L=36.0m <input type="checkbox"/> 下層路盤工 (t=5cm) A=247.0m ² <input type="checkbox"/> 下層路盤工 (t=10cm) A=424.0m ² <input type="checkbox"/> 上層路盤工 (t=10cm) A=671.0m ² <input type="checkbox"/> 表層工 (t=6cm) A=1,182m ²
施工位置	鳥取県日野郡溝口町大坂3号		
工事名	道路災害復旧工事		
工事費	28,159千円		
被災状況及び形態	※ No.0+10 ~ No.1 区間の道路斜面より径1.7m×1.0mの大転石が2個落下し、現道の山側路側帯で停止した。		

平面図 (S=1/2000)



標準断面図 (S=1/300)



被災状況写真



復旧状況写真

